

実施報告書

事業名 令和 8 年度信州大学経法学部出前講座
日 時 令和 8 年 9 月 11 日（金） 13：00～15：00
実 施 社会事業部 （副会長堀内 部長平林 理事黒川 理事松澤）

信州大学経法学部の要請を受け、本年も信州大学松本キャンパスにて実施いたしました。学校側の担当は弘中章先生で「契約法務実証」履修の 1 コマとして実施され、学生 11 名の参加がありました。

当会の講義内容は、座学と体験学習の二本柱を計画し、学生には測量作業の一端を体験いただきました。

当会が準備し実施した内容は以下の通りです

- ① 副会長挨拶 （堀内副会長）
- ② 座学 「日本の不動産登記システムについて」 （松澤理事）
- ③ 体験学習
 - ・ トータルステーションを用いた測設作業の体験 （平林部長）
 - ・ GNSS を用いた測設作業の体験 （黒川理事）

挨拶

堀内副会長から、土地家屋調査士の仕事内容を自身の経験を踏まえ話がなされ、士業としては特殊で現場作業と事務作業の両方が重要でやりがいがある職業であることが紹介された。

座学 （教室にて 30 分）

「 日本の不動産登記システム 」について講義

プロジェクタを使用し、不動産登記システムの目的・内容・公簿類の紹介・デジタル化への移行・課題等を紹介した

学生の中には、法務局にて自ら登記簿を取得し確認したというものも何名かいたが、それらのほとんどが授業の一環としてであり、実際に必要として取得したというものはほとんどいなかった。年齢的に当然な結果であるが、今後この知識が役に立つことを期待するものである。

体験学習（中庭 1 時間 30 分）

トータルステーションと GNSS を用いて測設作業を体験

トータルステーション使用では、器械側とポール側両方を体験いただき事前に設置した、金属鋸を探す作業を行った。

器械とポール側のミラーの関係を知ったうえで、測量作業を行った学生は全てではないが納得した様子で作業を楽しんでいる様子だった。

GNSS 使用では手元の画面と衛星の関係の説明に感嘆し、技術の進歩について驚いている様子が印象的だった

当日の天候があまり良くない予報だったので、役員一同心配しておりましたが、幸い外での体験学習時には雨もあがり、問題なく講義を終えられたことに胸をなでおろしました。

広報活動として以下を実施

- ・ 広報グッズを生徒・先生に配布（冊子・クリアファイル・付箋）
- ・ アンケートを実施
- ・ 記念撮影

本年は、学生の皆さんが自己紹介をしてくださり、その際自己の進路についても一言加えていただきました。

例年感じることであるが、学生の皆さんの熱量が非常に高く我々の拙い授業を熱心に聞いてくださることに感動すら覚えます。

終わってしまうと、もう少しいろいろなことが出来たのではないかと悔いばかりが残りますが、この体験学習が学生の将来に少しでも役に立てばと願うばかりです。

以上、令和8年度の実施につき報告します。

本年もこのような貴重な場を設けていただいた信州大学経法学部 弘中先生・金井先生には深く感謝申し上げます。

社会事業部理事 松澤光一郎